

「あおぞらアート&こどもの遊び場づくり」

○エントリー団体

Atelier Rik. (アトリエリック)

:アート体験

きたかみ冒険遊び場づくりの会

:遊びの環境設定 遊びの見守り



○事業への思い・解決したい課題

・学校や家庭など、様々な環境において『いい』『悪い』と線引きされてしまう場面が多い子ども達へ向けて、【色とあそぶ。】をコンセプトに、目の前のやりたい！やってみたい！という素直な想いを表現して、わくわくを思いっきり楽しんでもらいたい。

・なんでも自由に表現していい！今日だけは全身汚れてもいい特別な日！ということをしかり子ども達にも言葉で伝え、『汚れちゃダメ。』の固定概念から抜け出し、子ども達が自ら感情を外に溢れさせるきっかけや自己肯定感 UPにつなげたい。

・大人が率先して全身絵の具まみれで子ども達と共に楽しむことで、子ども達自身が心ときめくまま遊ぶこと、学ぶこと、経験することの大切さを体感してもらいたい。

・普段育児と一生懸命向き合っている保護者の心の張り詰めた糸が緩む時間を作りたい。

自宅では出来ないような、全身絵の具まみれになることも、私達が企画することで『たまにこういう日があってもいいか』と自分を開放するきっかけをつくりたい。

○コラボの経緯

北上市口内町にアートスタジオを構える【Atelier Rik. (アトリエリック)】と【きたかみ冒険遊び場づくりの会】では2023年の9月に口内町の里山遊学舎を利用して1回目のあおぞらアートを開催しました。そして、1回目の反省を活かし、内容を精査し、今年の8月24日(土)に同じ場所で開催しました。

○具体的な取り組み内容

2024年8月24日(土)にくちなし里山遊学舎にて、小学生以下39名が参加し、「あおぞらアート」を開催しました。大きな模造紙に全身で表現するアート体験や水を使ったこどもの遊び場を楽しくつくることができました。

○コラボの効果

・全身を使ったダイナミックなアート体験をアート専門の事業者が企画することで、保護者の信頼度が増し、保護者の笑顔が子どもの安心した表現活動につながっているのを感じました。

・水を使ったり、全身絵具まみれになるので、安全に活動できるような環境設定が重要です。保育、プレーワーカーとしての視点で環境を設定することによって、安全な活動につながりました。

○今後の展開

次年度もアート体験ができるような取り組みを考えていきます。この取り組みを通して、子どもの生活で、点数のつかない遊びや芸術体験が大切なことを広く伝えていきたいと思います。さらに子どもにとって、今大切にすることは何かを保護者にも伝え、安心できる子育て環境の役に担っていききたいです。